

平成29年7月1日発行

kyoto city zoo  
ZOO 京都市動物園

# KYOTO CITY ZOO

[京都市動物園]

## 動物園だより

2017  
No.181  
SUMMER

題字:京都市長 門川大作



レックス・ジャスミン、特任園長に抜擢された  
2月に動物園内で行われた動物人気投票で1位に選ばれました。

暑い夏も動物園へGO!



京都市  
CITY OF KYOTO



### 特集

学びの場としての動物園



### 今号のPick Up!

「どうぶつえん米」ってなあに?



### 飼育員だより

モモタロウの「お勉強」



### あのね! どうして!?

「レッサーパンダとアライグマのちがいはなんですか?」



No.

Date.



## 特集：まだまだ知らないことがいっぱい！

### 京都市動物園の魅力

# 学びの場としての動物園

The place for learning!



京都市動物園には、教育や調査・研究を担当する「生き物・学び・研究センター」があります。動物園には、レジャー施設としての役割のほかに、希少種を絶滅から守るために研究を行い、地域の生き物や自然環境について学びの場を提供するという重要な役割があります。動物園の飼育展示以外の面にも、ぜひ目を向けてみてください。



### 繁殖へのチャレンジ

動物園で飼育されている動物には、野生の環境で絶滅の危機に瀕しているものが数多くいます。京都市動物園では、こうした希少動物の飼育下での繁殖に力を入れていません。熱帯アジアの森林や草原にすむアジアゾウは、象牙目的の密猟や環境破壊によって、数が減っています。それに伴い海外からの輸入が難しくなり、動物園での繁殖例も少ないことから、将来、日本の動物園で、ゾウの姿が見られなくなるかもしれません。そんな中、ラオスとの共同繁殖プロジェクトで、3年前、京都市動物園に4頭の子ゾウがやってきました。ゾウ本来の姿である「群れ」で飼育し、繁殖につなげることを目指しています。そのための飼育スペースも整備し、普段から健康状態を確かめるためにトレーニングを行い、飼育員とゾウの間に信頼関係を築いています。その他、生息地の環境破壊と密猟によって数が減っているニシゴリラや、国内で絶滅が危惧されているツシヤママネコなど、国内外の機関と協力して、次世代に種を残す取組を積極的に進めています。



01.平成26年11月にラオスからやってきた4頭の子ゾウたち。将来の繁殖に期待がかかっています。02. トレーニングをすることで、ケガや病気、出産といった時にも安全に体調管理ができるようになります。03. ゲンタロウとゲンキ(ニシゴリラ) 04. キイチとメイ(ツシヤママネコ)

### ゴリラたちの「お勉強」による調査研究

京都市動物園では、ニシゴリラ、チンパンジー、シロテテナガザル、マンドリルを対象にタッチモニターを使って数字の順序を覚える「お勉強」の時間を設定しています。私たち人間は、ゴリラやチンパンジーと同じヒト科の仲間です。これにテナガザルやマンドリルを含めて霊長類の多様な種の知性を比較することで、私たち人間の知性の特徴を明らかにすることができますと考えています。「お勉強」は、動物たちにとっては「お楽しみの時間」になっています。知能の高い動物にとっては、複雑な課題に取り組み、学習意欲や好奇心を満たすことも、幸せに暮らすために必要なことなのです。つまり、こうした「お勉強」は、動物たちが本来持っている

る能力を引き出し、動物園での生活を豊かにする、「環境エンリッチメント」にもつながっているのです。勉強の取組方には、それぞれ個性があります。ぜひ彼らの「お勉強」の様子を見にきてください。

ニシゴリラ、チンパンジーの勉強の様子は、屋内観客通路からガラス越しに、シロテテナガザル、マンドリルの勉強の様子は屋外展示室で柵越しに直接見ることができます。

- 01. モモタロウ(ニシゴリラ) 02. ニイニ(チンパンジー) 03. シロマチー(シロテテナガザル) 04. ペンケイ(マンドリル)



\*環境エンリッチメントとは、動物たちの生活の質を向上させるために、飼育環境を豊かにする様々な工夫や試みのことです。





## 今号のPick Up!

# 「どうぶつえん米」ってなあに?

園内にある「京都の森」は、京都の里山を再現し、来園者に豊かな自然に触れてもらおうと平成27年にオープン。「京都の森」の中央に3段の棚田を作り、毎年、水田での生物観察、田植え・稲刈り体験などを行っています。「どうぶつえん米」とは、ここで育てて、収穫したお米のことです。

今年で3回目になる「どうぶつえん米」の栽培。毎年、京都精華大学の学生と一緒に、市内の小学生や希望者が参加して、田植えから稲刈り、お米を収穫するまでを体験してもらいます。昨年は、うるち米のほか、もち米、古代米（ムラサキコマチ）の栽培にも挑戦。苗の手植えや、

鎌での稲刈りなど、今ではめったにできなくなった伝統的な米作りの体験学習の場になりました。今年も、来園者に、その季節ごとの田んぼでの作業の様子や、稲の成長の光景を楽しんでもらうことができます。



動物園内に田んぼがあります。

「京都の森」の中央にある3段の棚田。琵琶湖疏水の水を使って、お米を育てています。



左：収穫したあとの稲わらは、園内の動物たちの餌や敷きわらとして利用しています。写真は口バのハル。右：トンボの幼虫、ヤゴ。田んぼには様々な生き物がやってきます。

田んぼには多種多様な生き物がやってくるので、田んぼを、生き物との出会いや観察の場として活用することもできます。自然を知り、理解することは、身近な野生動物たちの生息地を守ることに繋がります。そして、ひいては絶滅に瀕している動物のことを考えるきっかけにもなります。動物園とお米作り。まったく関係ないようで、実はつながっているのです。

「生き物・学び・研究センター」では、年間を通して、多くの人に参加していただけるよう、様々なイベントや体験会、講演会を開催しています。詳しくは、動物園のホームページを御覧ください。



## 飼育員だより モモタロウの「お勉強」

生き物・学び・研究センター 田中正之センター長

ニシゴリラのモモタロウです。「ゴリラのおうち」の中には、タッチモニターで数字の順番を覚える「お勉強」ができるパネルがあります。正解すればごほうびとして、リンゴかニンジンをおもらえませんが、モモタロウにとっては部屋にある木の葉っぱや牧草があれば餌は十分なようで、「お勉強」にはほとんど見向きもしません。それでもたまにはやる気になるのか、しばらくタッチモニターに向かう時があります。

そんな時には、大きな体で大きな手の大きな指で、慎重に数字をさわっていく姿が見られます。みなさんが見るのはどちらのモモタロウの姿でしょうか。ゆったり葉っぱを食べていますか。それとも勉強に取り組んでいるのでしょうか。



## あのね! どうして!?



レッサーパンダとアライグマの  
ちがいはなんですか?



レッサーパンダ

レッサーパンダもアライグマも日本ではアライグマの仲間とされています。そもそもの始まりとなる動物はおそらく同じです。

A レッサーパンダは中国の山の中で、竹の葉を主に食べるように適応し、アライグマは北アメリカで比較的何でも食べられるように適応した動物です。

動物園の「御意見箱」に寄せられた、動物に関するいろいろな質問とその回答を御紹介しています。過去の回答は動物園のホームページや、「図書館カフェ」の動物園コーナー（西側の本棚）にあるファイルでも御覧いただけます。



アライグマ



events



# 動物園で楽しい体験，盛りだくさん！ イベントのお知らせ

8/14(月)は  
臨時開園します。



平日限定！

**スタンプラリー実施中**  
オリジナルポストカードを  
プレゼント(8/14は実施  
しません)。



7/9(日)

13:30～ / **要整理券**

**ペンギンさんとなかよし**  
ペンギンの餌やりが  
体験できます！



8/11(金・祝)～14(月)  
9/16(土)～18(月・祝)

**夜間開園**

開園時間を20:00まで延長。  
夜の動物園を楽しんでいただ  
けます(入園は19:30まで)。



9/10(日)  
13:30～

**紙芝居**

京都市動物園オリジナル  
の紙芝居をします。何の  
お話かは当日のお楽しみ。



9/18(月・祝)  
13:30～

**敬老の日  
長寿動物の話**

担当飼育員による長寿  
動物の話が聞けます。



7/17  
(月・祝)

**暑い夏に冷たいお楽しみ！  
水のプレゼント**



暑い夏を少しでも涼しく過ごしてもらうため、動物  
たちに氷をプレゼントします。氷柱で涼をとる姿や、  
氷の中に入った果物を取り出そうとする姿が見られ  
ます。京都全魚類卸協同組合様より寄贈を受け、平  
成9年から続けている毎夏恒例の行事です。



10/9  
(月・祝)

**要事前申し込み**  
**環境エンリッチメント体験！  
チンパンジーの喜ぶ顔が見てみたい**  
(中学生以上対象)

野生では日常的に行われている、チンパンジーの  
「樹上の採食」を再現して観察するイベントです。  
普段は入ることのできないチンパンジーのグラウ  
ンドに入って、木の枝に果物や野菜を取り付け、  
チンパンジーの採食行動が観察できます。



**動物園よりお知らせ**

誕生しました！



ケープハイラックス  
「ヒロミツ」(オス)



ワオキツネザル  
(オス)



ツシヤマメネコ  
(オス)(メス)

**新しい仲間が増えました！**

**ツキノワグマ「ほのか」(メス1歳)**

秋田県北秋田市「くまくま園」から、  
ツキノワグマの「ほのか」が来園しました。



**2/28: ツシヤマメネコの**

**「マナブ」(オス2歳)が死亡。**

先天性心疾患と診断されて治療中でした。



**3/10: キリンの「キヨミズ」**

**(オス17歳)が死亡。**

メスのミライとの間に6頭の子をも  
うけました。死因は頸椎脱臼でした。  
写真は左がキヨミズ、右がミライ。



**御支援ありがとうございます。**



並木グループ様からソメイヨシノを1本、京の手仕事市  
様から車椅子を3台、京都ベンチャークラブ様からテー  
ブルセットを2セット、京都岡崎白川ライオンズクラブ様から  
デジタルサイネージを1式、(株)藤本車両様からダンプ式モ  
ータートラックを1台いただきました。ありがとうございます。

その他にも楽しいイベントを開催しています！  
詳しくはホームページを御覧ください。



京都市動物園 | 検索

京都市  
動物園

☎075-771-0210  
<http://www5.city.kyoto.jp/zoo/>



開園時間：3月～11月(9:00～17:00)

12月～2月(9:00～16:30) \*入園は開園時間の30分前まで

入園料：一般600円、団体(30人以上)500円、中学生以下無料、  
年間入園券(一般)2400円

休園日：毎週月曜日、12月28日～1月1日(祝日の場合は翌平日が休園になります。)

交通：京都市営バス 5,100,32系統「岡崎公園 動物園前」下車約2分/京都市  
営バス(京都岡崎ループ)「動物園正門前」下車すぐ/京都市営地下鉄東西線  
「蹴上」徒歩約5分・「東山」徒歩約10分

定期購読を希望される方は、82円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市農 門川 大作  
事業所の名称：京都市動物園  
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町22  
動物取扱業の種別：展示 京都市登録第070051号  
販売 京都市登録第070052号  
登録年月日：平成19年5月22日  
有効期間の末日：平成34年5月21日  
動物取扱責任者氏名：岡崎 要  
製作：(株)ベネッセコーポレーション  
発行：京都市文化市民局動物園 京都市印刷局第294271号

**Benesse**

※「動物園だより」は京都市動物園  
運営サポートである  
(株)ベネッセコーポレーションから  
企画・編集の御支援をいただいています。